



世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 17 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔I〕 次の文章をよく読み、設問1～6に答えなさい。

人間の持つ好奇心によって、あらゆる学問は長い歴史をかけて発達してきた。今日では、学問は自然科学、人文科学、社会科学などそれぞれが体系だったものとして、確立されてきている。しかし、歴史をみると、学問が体系化されていくプロセスは単純なものではないことがわかる。

まず、紀元前のギリシアに目を向けてみよう。そこでは、ホメロスの『オデュッセイア』やヘシオドスの『神統記』など、物事や出来事を記述する叙事詩が大きな意味を持っていた。これらの叙事詩のなかでは、民族の英雄や神話などが重視されていた。

その後、イオニア自然哲学の発展にともなって、合理性と論理性を重視する科学的態度が生まれた。⁽¹⁾タレスは万物の根源を水であると考え、は「万物は流転する」と説き、火をその象徴であるとした。その後、弁論や説得の手法を教えるプロタゴラスが現れ、物事の真理を追究することに大きな価値を求めない立場も登場したが、ソクラテスやプラトンら哲学者は真理の絶対性を説こうとした。

紀元前4世紀に入ると、現実主義的で経験論的な立場から、それまでの諸学を集大成したことによって「万学の祖」と呼ばれたが登場した。その学問体系は、後のイスラーム世界の思想や、キリスト教神学、とりわけスコラ学にも⁽²⁾影響を与えたとされている。

一方で、学問は権力や権威を持つ者にとっては脅威でもあった。

たとえば、紀元前221年に中国を統一した秦の始皇帝は、医薬、農業、⁽³⁾占いで以外の書物を焼くというや、皇帝を批判した儒学者を埋めて殺すという坑儒によって思想統制をはかったことが、司馬遷による『史記』に記されている。

ほかにも、2世紀にが『天文学大全』の中で提唱した天動説は、その後、カトリック教会が公認し、当時の「常識」とされてきたものであった。その「常識」に異を唱えるには、ルネサンスの時代のコペルニクスやガリレオ＝ガリレイの登場を待たねばならなかった。⁽⁴⁾

やがて、17世紀に入ると自然界の研究が急速に進み、科学革命と呼ばれる学

問の発展があった。ニュートンによる「万有引力の法則」やジェンナーによる種痘法などは、現代の物理学や医学につながる知識でもある。

また、同じ頃、こうした近代的・合理主義的な思考法は、社会の考察にもむけられ、自然法思想が展開した。「国際法の祖」と呼ばれた E の思想や、ホッブスの主著『リヴァイアサン』で展開された思想は、現代の法学や社会学といった社会科学に引き継がれている。

このように、われわれが真理や常識としてとらえている科学は、常に過去の賢人を乗り越えようとする努力によって成立しているのである。

問 1 空欄 A～E に最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問 2 下線部(1)のイオニア自然哲学はギリシア対岸の小アジアに位置する、ある都市が中心となって栄えた。タレスの出身地でもある、その都市の名前を解答欄に記入しなさい。

問 3 下線部(2)のスコラ学で中心となった論争の一つに普遍論争がある。それは、「普遍」や「神」といったものは、事物に先行して存在するととらえるのか、あるいは思考の中のみ存在するととらえるかという論争であった。アベラールなどが唱えた後者の論を何と呼ぶか、解答欄に記入しなさい。

問 4 下線部(3)の占いは、殷の時代でも行われてきたことが発掘調査によって明らかになってきている。そのことは、出土品に刻まれた文字の存在から知ることができる。その文字は何と呼ばれているか、解答欄に記入しなさい。

問 5 下線部(4)のルネサンスの芸術を代表するものとして、ミケランジェロによる巨大フレスコ画『最後の審判』がある。それが描かれている礼拝堂の名前は何か、解答欄に記入しなさい。

問 6 下線部(5)のニュートンが 1687 年に記した主著は何と呼ばれているか。解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章をよく読み、空欄 1～10 に最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

1888 年ドイツではヴィルヘルム 2 世が即位し、数年後にはビスマルクを辞職させた。この頃になるとドイツの資本主義は急速に発達し、ヴィルヘルム 2 世は「世界政策」を展開して、帝国主義政策を進めるとともに海軍を拡張してイギリスを脅かした。イギリスは、19 世紀半ばに「世界の工場」といわれ、圧倒的な海軍力を背景にして植民地帝国を維持していた。1875 年にはディズレーリ首相によって [1] の経営権を握ったばかりか、やがてエジプトを支配下においた。1895 年に植民相となったジョゼフ＝チェンバレンは、オーストラリアを自治領にするとともに、セシル＝ローズを支援して南アフリカ戦争をおこした。

19 世紀末になるとアメリカ合衆国は、その工業力を世界で首位となるまでに発展させ、国内でフロンティアが消滅したこともあって、やはり海外へ進出する帝国主義の政策をとるようになった。1898 年アメリカ＝スペイン戦争に勝利すると、[2] 大統領はカリブ海や太平洋のスペイン領植民地を獲得して海外進出の基盤を築いた。[2] の後を継いだセオドア＝ローズヴェルト大統領は、国内では革新主義の流れにそって改革を進める一方、「棍棒外交」を展開して中米諸国にしばしば武力干渉を行い、[3] の建設にも着手した。

中国ではアヘン戦争やアロー戦争がおこり、列強からの圧力が高まって民衆の生活も苦しくなった。それとともに各地で反乱がおこるようになり、やがて太平天国の乱がおこった。太平軍はやがて巨大な集団となり、1853 年には南京を占領して首都と定め [4] と名付けた。これに対して清朝側は、[5] といわれた義勇軍を組織し、太平軍と激しく戦うようになった。その代表的なものとしては、曾國藩が率いる [6] などがあつた。欧米列強は当初、太平天国に同情的であつたが、やがて清朝を助けるようになり、1864 年に太平天国は滅亡した。太平天国の乱は清朝の無力ぶりを内外に示すこととなり、漢人官僚が政治の中枢に進出するきっかけとなった。

世界各地での帝国主義的な対立は、やがて 1914 年夏にヨーロッパで第一次世界大戦が起こる原因の一つになった。戦争が始まるとドイツ軍はシュリーフェン

計画に基づき中立国であった [7] を席卷し、北フランスに侵攻したがマルヌの戦いで阻止され、以後西部戦線では連合国側も同盟国側も塹壕に立てこもるようになった。東部戦線では [8] の戦いでドイツ軍がロシア軍を破ったが、ロシアの領土が広くまた気候が厳しかったため、決着はつかなかった。こうして戦争は予期しない長期戦となった。また [9] の戦いで毒ガスが使用されるなど新兵器が登場したため、近代兵器を大量に生産する必要が生まれ、物量戦の様相を呈した。各国は国力をすべて戦争に向けて動員する [10] の体制をつくった。これによって、女性や青少年が軍需工業に動員されるばかりか、国民の消費生活全体が国家によって統制されることになった。

ドイツは潜水艦を活用して連合国側の通商破壊を行ったが、アメリカ人乗客を多く乗せたイギリス客船ルシタニア号を撃沈すると、ドイツとアメリカ合衆国の関係が悪化し、やがてアメリカ合衆国は連合国の一員として参戦することになった。

〔Ⅲ〕 次の文章A～Dをよく読み、下線部(1)～(10)に関する問1～10に答えなさい。

A アラブ系クライシュ族の商人の家に生まれたムハンマドは、アッラーの啓示を受けて、それまでのさまざまな偶像を崇拜する多神教に代わる、厳格な一神教であるイスラーム教を唱えた。この教えは神の前において信者を平等であるとし、富の独占を批判したため、メッカの大商人から迫害を受けた。この迫害を逃れるために、ムハンマドは彼の少数の信者を率いてメディナに移住し、その地にイスラーム共同体(ウンマ)を形成した。

ムハンマドは630年にメッカを征服し、632年にアラビア半島のゆるやかな統一を実現すると病没したが、彼の後継者となったカリフ(ハリーファ)のもと、イスラーム教徒の異教徒に対する聖戦(ジハード)が起り、東は中央アジアから西はイベリア半島にいたる大帝國を作りあげた。

問1 下線部(1)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① クライシュ族ウマイヤ家出身である。
- ② カーバ神殿をイスラーム教の聖殿に定めた。
- ③ 隊商貿易に従事し、キリスト教やユダヤ教にも接していた。
- ④ 『コーラン』はアッラーから彼に授けられた啓示の集成である。

問2 下線部(2)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 初代から第6代カリフまでを正統カリフと呼ぶ。
- ② 第3代カリフとなったのは、ウマルである。
- ③ イスラーム共同体(ウンマ)を指導し、ムハンマドの持っていた教義や法を変更するなどの宗教的な権限を有した。
- ④ 1924年にムスタファ＝ケマルによってカリフ制は廃止された。

問 3 下線部(3)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① イスラーム教徒の参加は義務とされ、戦死者は殉教者となり天国が約束されると考えられた。
- ② 征服地に建設された軍営都市はミスルと呼ばれ、その代表的なものにイラクのクーファがある。
- ③ ニハーヴァンドの戦いでビザンツ軍を撃破した。
- ④ 征服活動の対象地には「肥沃な三日月地帯」が含まれていた。

B 正統カリフ時代がしばらく続いた後、661年にウマイヤ朝がひらかれた。しかし、マワーリーやアラブ人のなかにもウマイヤ朝の強権政治を批判する者が現れて、ウマイヤ朝打倒の革命運動が起こり、これが成功してアブー＝アッバースを初代カリフとするアッバース朝が成立した。第2代のマンスールの治世に、ティグリス川西岸に「平安の都」(マディーナ＝アッサラーム)と名づけられた首都が造営された。

また第5代のハールーン＝アッラシードのときにアッバース朝は最盛期を迎えたが、このころになると官僚制による中央集権体制やイスラーム法の整備が進んだほか、学術の奨励も行われ、この首都はイスラーム世界の政治・経済・文化の中心地として繁栄した。だがアッラシードが没すると、地方の独立王朝の出現などによりイスラーム帝国の分裂は決定的なものになった。

問 4 下線部(4)について、この王朝が都とした都市名として最も適切なものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① トンブクトゥ
- ② バグダード
- ③ コルドバ
- ④ ダマスクス

問 5 下線部(5)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 13世紀にバトゥの西征により滅亡した。
- ② 少数宗派であったシーア派が保護された。
- ③ この王朝時代に、『コーラン』が現在伝えられている形に編集された。
- ④ イラン人を中心とする新改宗者が官僚として活躍した。

問 6 下線部(6)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 『コーラン』やハディースの解釈をもとに体系づけられた。
- ② 立法作業や法の解釈には、ワズィールと呼ばれる知識人が携わった。
- ③ 「神の定めた法」を意味し、シャリーアとも呼ばれた。
- ④ 礼拝に関する儀礼的規範や婚姻・刑罰に関する法的規範に加えて、租税や戦争の規定なども示されている。

C イスラーム帝国の分裂と混乱の時代は、他方でインドや東南アジア、アフリカなどの各地へイスラーム教が浸透してゆく時期でもあった。⁽⁷⁾

インドでは、10世紀末からトルコ系イスラーム王朝であるガズナ朝の侵攻が繰り返され、1206年にゴール朝のアイバクによるインド最初のイスラーム王朝が誕生した。それ以降320年間、デリーを都とする5つのイスラーム王朝⁽⁸⁾(デリー＝スルタン朝)がインドを支配した。

東南アジアのイスラーム教の伝播は、ムスリム商人の東南アジア海域への来航に伴って進んだ。なかでも15世紀初めのマラッカの王のイスラーム教への改宗が重要な契機となり、この地を拠点にジャワ島やマレー半島などへと広まった。

問 7 下線部(7)の各地へのイスラーム教の浸透に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 民衆への布教に際してスーフィー(イスラーム神秘主義者)たちが活躍した。
- ② 東南アジアでは、諸島部とともに大陸部の諸国にもイスラーム教は深く浸透した。
- ③ インドでは、イスラーム教とヒンドゥー教の要素が融合して、新たな文化がおこった。
- ④ 北アフリカのイスラーム王朝であるムラービト朝とムワッヒド朝の首都はともにマラケシュであった。

問 8 下線部(8)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ロディー朝は、トルコ系のバハロールがデリーに迎えられて建国した。
- ② ハルジー朝は、地租の金納化をはじめとする経済改革を実施した。
- ③ サイド朝は、ティムールの武将ヒズル=ハンにより建国された第3王朝である。
- ④ トウグルク朝は、将軍ジャラルルッディーンにより建国されたが、ティムール軍の侵入を受けて衰退した。

D イスラーム世界では、イスラーム教とアラビア語を核とし、古代オリエント文明やヘレニズム文明と、その他の征服各地の文化遺産が融合してイスラーム文明が生まれた。最初に発達したのはイスラーム教の経典『コーラン』の研究を中心とする「アラブの学問」であったが、その後9世紀初めにギリシア語文献が組織的にアラビア語に翻訳されると、医学や数学といった「外来の学問」も飛躍的に発達し、その成果はヨーロッパにも大きな影響を与えた。

またアッバース朝時代になると、ムスリム商人たちの交易範囲は拡大し、そ

のなかには遠く東南アジアや中国沿岸の杭州や泉州まで航行するものもあった。このような中国との交易を通じて、イスラーム教とその学術が中国に伝えられ、また中国起源の羅針盤・火薬などがイスラーム世界に伝えられた。

問 9 下線部(9)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 神学 ② 歴史学 ③ 地理学 ④ 法学

問10 下線部(10)に関する記述として適切でないものを、次の①～④のなかから一つ選びその番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ムスリム商人は、主にジャンク船を用いる商船貿易を行った。
② ムスリム商人は、中国の海港都市に居留地を設け、清真寺(モスク)を建設した。
③ ムスリム商人は中国では大食(タージー)と呼ばれた。
④ 隊商貿易で利用された、ムスリム商人たちの宿泊施設はキャラヴァンサライと呼ばれた。

〔IV〕 次の文章A～Jをよく読み、下線部(1)～(4)のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

A 1848年、マルクスとエンゲルスは『共産党宣言』を発表し、「万国の労働者よ、団結せよ」と呼びかけた。この呼びかけは1864年の第1インターナショナルとなって実現した。しかし第1インターナショナルはパリ＝コミュニオンを支持して各国政府から弾圧されたことや、アナーキストであるバクーニン派を⁽¹⁾追放した内部分裂などにより解散に⁽²⁾追い込まれた。その後ドイツ社会民主党を中心⁽³⁾に結成された第2インターナショナルでは、第一次世界大戦への反対を⁽⁴⁾貫いた。

B フランスでは、七月革命により少数にしか参政権が認められなかった不満や、経済不況からの困窮により、1848年に民衆による暴動が起こって臨時政府が樹立された。ルイ＝フィリップはイギリスに亡命して、七月王政は倒れた。フランスでは労働者による理想的産業社会や協同組合的社会的実現をめざした社会主義者が多く存在したが、ルイ＝ブランは生産の国家統制を図る国立⁽¹⁾作業場を建設した。

しかしこの革命は有産者層を中心とする⁽²⁾立憲君主制主義者と労働者を中心とする社会主義者を含むという矛盾を抱えていた。4月の男性普通選挙で⁽³⁾農民が⁽⁴⁾有産者層側についたため、革命は急速に社会主義的性格を失っていき、また国立作業場も失敗に終わった。

C イギリスでは、チャーティスト運動が1848年に頂点に達していた。すでにイギリスでは自由主義的改革が行われ、審査法の廃止によって⁽¹⁾カトリック教徒の公職就任が認められたり、団結禁止法の廃止によって労働組合の結成が認められたりしていた。しかし⁽²⁾腐敗選挙区の廃止などを行った第1回選挙法改正は、労働者に選挙権を認めなかった。そのため男性普通選挙など6カ条の要求を掲げたチャーティスト運動が高まっていったのである。しかし政府の弾圧が強まり、また⁽³⁾経済が好転したこともあって、運動は自然に沈静化していった。

都市工場労働者に選挙権が与えられるのは、1867年の第2回選挙法改正の際⁽⁴⁾である。

D ドイツは1815年以来、オーストリアを盟主とするドイツ連邦を構成していたが、政治的分裂は続いていた⁽¹⁾。1834年にプロイセンを中心とするドイツ関税同盟が結成され、経済的統一はほぼ完成した⁽²⁾。1848年にフランクフルト国民議会で統一がめざされたが、大ドイツ主義と小ドイツ主義が対立した。小ドイツ主義を採ることで方針はまとまったが、皇帝に推したプロイセン王について⁽³⁾ハプスブルク家の同意が得られず失敗し、フランクフルト国民議会も解散した⁽⁴⁾。

E ウィーン議定書により、ヴェネツィアとロンバルディアをオーストリアに奪われたイタリアでは、サルデーニャ王国のカルロ＝アルベルトが、1848年オーストリアと開戦したが、敗北した⁽²⁾。一方、マツィーニ率いる「青年イタリア」はローマ共和国の建国を宣言したが、ローマ教皇の要請によるフランス軍の介入によって崩壊した⁽³⁾。

しかし、アルベルトを引き継いだヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世は宰相にカヴールを用いて、イタリア統一への戦略を進め、1861年イタリア王国が成立した。ヴェネツィアとロンバルディアはそれに先立ってオーストリアからイタリアへと併合されていた⁽⁴⁾。

F ハンガリーでも1848年の三月革命後、自由主義的改革の運動が起こった。ハンガリーは1526年以後神聖ローマ帝国とオーストリアによって分割されていたが、1699年のカルロヴィッツ条約によってオーストリアの支配下におかれていた⁽¹⁾。メッテルニヒの亡命によって、オーストリアでも一時自由主義的改革が約束され、ハンガリーの独立をめざすコシュートは運動を起こし、1849年にはコシュートを主席とする臨時政府が樹立された⁽²⁾。しかし「ヨーロッパの憲兵」⁽³⁾といわれたロシアによる介入もあって、鎮圧された。後にオーストリアは、領内の民族問題に対処するためハンガリー貴族と妥協し、オーストリア＝ハンガリー帝国を建設した⁽⁴⁾。

G 19世紀前半のアメリカ合衆国は、国土拡張の時代であった。ルイジアナをフランスから、フロリダをスペインから買収し、「明白な天命」を唱えてテキサス、オレゴンを併せ、さらにメキシコと戦って、1848年にカリフォルニアを獲得した。折から奴隷制をめぐる南北の対立が起こっており、ミズーリ協定によって西部の新たな州は奴隷州か自由州かを住民投票によって選べることになっていたが、カリフォルニアは自由州となった。

H マレー半島では、19世紀に入ると銅の採掘が盛んとなり、1848年には大規模な鉱床も発見された。この地域ではすでにイギリスが、ペナン島・マラッカ・シンガポールからなる海峡植民地を成立させていた。マラッカはオランダが占領していたのを、ナポレオン戦争中にイギリスが奪ったものである。この鉱床の発見を機に中国人労働者の流入があいつぎ、またマレー人首長の利権争いによる社会の混乱が、イギリスの一層の介入を招き、1867年には直轄植民地となった。この地では20世紀初めにはゴムのプランテーションが発展した。

I インドでは、1848年にシク戦争が、1845-6年に引き続いて起こった。もともと綿織物の原産国であったインドであるが、このころにはイギリス綿工業の原料・製品市場となって、民衆の生活は疲弊していた。シク教は16世紀初頭ナーナクによって始められたヒンドゥー教改革派であり、カースト制を否定した。西北部には王国も作られていた。シク戦争はイギリス支配に対する抵抗であったが敗れ、これによってイギリスはベンガル地方の支配権もえて、インド全土をほぼ掌握した。

J 1796年以来カージャー朝の下にあったイランでは、イギリスの綿製品の流入により手織り綿布が衰退して民衆が困窮した。外国勢力、特にイギリスとロシアへの反感が強まり、1848年マズダク教徒の乱が起こった。マズダク教はイスラーム教シーア派の神秘主義的新宗教で、農民や中小商人に広まっていた。この反乱は厳しく弾圧され、マズダクも処刑された。しかしイギリス資本に対する抵抗は1891年にもタバコ=ボイコット運動となって現れた。

〔V〕 次の文章イ～ホをよく読み、下線部(1)～(9)に関する問1～9と、問10に答えなさい。

イ Aは、1889年オーストリアに生まれ、第一次世界大戦後にナチ党党首になった。世界大恐慌後の社会不安の中、たくみな宣伝で人々をひきつけ、1933年にはドイツの首相になった。徹底的な独裁を確立して⁽¹⁾恐怖政治を行い、第二次世界大戦をおこした。⁽²⁾

問1 下線部(1)に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ナチ党を支持したのは主に中間層であった。
- ② 共産党や社会民主党もナチ党を支持するようになった。
- ③ ナチ党は設立当初から大地主や資本家から援助を受けていた。
- ④ ドイツ軍部は第一次世界大戦前からナチ党を支持していた。

問2 下線部(2)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 1938年にはユダヤ人の商店を打ちこわしたりなどした「水晶の夜」事件を起こした。
- ② 全権委任法によってナチ党の一党独裁が強固になった。
- ③ 突撃隊(SA)は、反対派に街頭で直接暴力をふるうなどした準軍事的組織であり、やがて国防軍をも支配した。
- ④ 親衛隊(SS)は、第二次世界大戦中、捕虜の監視や虐殺を行った。

□ Bは、レーニンの死後、有力者や対立者を失脚させたり追放したりして、やがて独裁体制をしいた。その一方で急速な重工業化を進めて、ソ連を軍事大國⁽⁴⁾にし、第二次世界大戦ではドイツや日本と戦った。⁽³⁾

問 3 下線部(3)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 1936年に制定された憲法では、平等、飢えからの解放など、民主的な規定も盛り込まれた。
- ② 反対派とみなされた人々は、政治指導層から一般庶民にいたるまで粛清されたが、軍の指導者は粛清されなかった。
- ③ 第1次五カ年計画とは異なり、第2次五カ年計画では消費財生産にも配慮された。
- ④ トロツキーの世界革命論とは異なり、一国社会主義論が唱えられた。

問 4 下線部(4)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 1939年夏には、ドイツと不可侵条約を結ぶ一方、「満州国」国境で日本の関東軍と武力衝突を起こした。
- ② フィンランドに対して戦争を起こし、領土の一部を奪ったが、国際連盟から除名された。
- ③ 1943年5月、アメリカ合衆国やイギリスとの結束を強化するため、コミンテルンが解散された。
- ④ アメリカ合衆国とイギリスが合意した大西洋憲章には、結局最後まで同意しなかった。

ハ Cは、世界大恐慌が起こってからアメリカ合衆国の大統領になり、ニューディール政策を展開して改革を進めた。外交の面でも様々な実績を残し、アメリカ合衆国を世界の指導国の地位へと押し上げた。

問 5 下線部(5)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 資本主義の自由放任の原理によるのではなく、国家が積極的に経済に介入して景気の回復を図ろうとした。
- ② 農業調整法(AAA)によって、農業生産を制限し価格を引き上げて、農民の生活を安定させた。
- ③ 全国産業復興法(NIRA)は、政府と企業との協力関係を強めながら、労働者の権利をも認めるものであり、憲法にかなうものであった。
- ④ 連邦政府が失業保険や退職金などの支給を保障した社会保障法が制定された。

問 6 下線部(6)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 南北アメリカの政治的・経済的一体化を進める善隣外交を推進した。
- ② 1943年12月、イギリスなどとともにかイロ宣言を発表し、日本に対する処理方針を定めた。
- ③ 中立法を改正して武器貸与法を成立させ、イギリスを援助し、やがて他の連合国をも援助するようになった。
- ④ 1945年2月には、イギリス、ソ連、中国の首脳とヤルタ会談を開き、ドイツの処理問題やソ連の対日参戦で合意した。

ニ Dは、中国共産党の設立に参加し、やがて同党を指導する立場についた。日本(7)の侵略に対して抗日民族統一戦線を作り、日中戦争から第二次世界大戦のあいだは国民党と協力した。

問 7 下線部(7)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 1931年江西省瑞金に中華ソヴィエト共和国臨時政府が成立した。
- ② 国民党の圧迫を受けて長征をすることとなり、1937年以降、延安が中心的な根拠地となった。
- ③ 1947年3月、従来の八路軍や新四軍を中心にして、人民解放軍が作られた。
- ④ 1935年には幣制改革を行ない、中国国内の貨幣の統一をめざした。

ホ Eは、父親の病死にともなって天皇の地位についたが、その後軍部が政治に(8)影響力を持つことを阻止できなかった。外交についても、日本は米英との関係(9)を悪化させ、第二次世界大戦では枢軸側に立って戦い敗北した。

問 8 下線部(8)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 1931年9月、関東軍は柳条湖事件をおこし、それをきっかけにして満州事変を開始した。
- ② 五・一五事件で、革新派の青年将校と右翼が犬養首相を暗殺するなどして、政党内閣が終った。
- ③ 1937年7月、盧溝橋事件が起き軍部が戦争を拡大すると、中国では初めて国共合作が実現した。
- ④ 二・二六事件で急進派の将校が兵隊を率いて決起し、閣僚や重臣を暗殺して軍部政権を作ろうとした。

問 9 下線部(9)に関する記述で誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ワシントン・ロンドン両海軍軍縮条約の破棄を通告し、1936年以降は制限条約の無い時代に入った。
- ② 日本は、ドイツ、イタリアとの防共協定を発展させて三国同盟を結び、さらにはソ連と中立条約を結んだ。
- ③ 日本がフランス領インドシナ北部に、続いて同南部にも軍を進めると、アメリカ合衆国は日本への石油供給を停止した。
- ④ 1933年、国際連盟でリットン調査報告書に基づき、「満州」からの撤兵が勧告され、日本は同連盟から除名された。

問10 上記のA, B, C, D, Eの歴史的人物が没した順番として正しいのはどれか、次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① C—A—D—E—B
- ② C—A—B—E—D
- ③ C—A—B—D—E
- ④ C—A—D—B—E